

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 12 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	尾道市向島町立花3010-23 (電話) 0848-20-6022		
自己評価作成日	平成27年11月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年12月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>海あり・山あり・公園ありと、自然に恵まれた環境は抜群です。また、建物は平屋造りなので両ユニットの入居者様が気軽に行き来できます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>今年5月に開設10周年を迎えた、海の傍にある平屋建て施設で、開設当初より地域の方の理解と協力のもと現在に至っている。利用者及び職員も向島住民であり、地域の風習、生活習慣等を熟知したベテラン職員が利用者に寄り添いながら生活を営んでいる。法人理念『基本的人権が保護され家庭的な生活環境の中で地域との交流を通じて、生き甲斐ををもって生活できるよう支援する』の下、職員で1年間の目標「利用者が声を出して笑って頂ける支援」を目標に、挨拶等の声掛け時のスキンシップを実践し又、レクレーションや日課の体操を通して利用者との信頼関係を築いている。運営推進会議と家族会を2ヶ月ごとに同時開催し、出来る限り多数の家族の意見が、運営に反映出来るよう努められ、バス旅行も家族の要望の中から実施されている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいた理念を職員全員で共有している。また、短期目標もスタッフで考え、日々、目標達成に向けて実践している。	法人理念を実現するため、職員で作成した年間目標「入居者が声を出して笑って頂けるように支援する」を掲げ、日々の関わりの中で実践に努めている。	年間目標が設定され実施されているが、目標が昨年、今年と同じ目標が設定されている。出来れば、毎年、事業所理念を实践するための年間目標と行動目標を設定し、更に職員の個人目標及び進捗状況を把握することで、より一層の理念実践に向けた取り組みへの努力を期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には声をかけていただき、出来るだけ参加できるようにしている。	開設当初より町内会に加入され、地域情報は、回覧板などで得ている。地域の方も事業所に対して理解が深く、年月の中で地域の一員として交流されている。地域行事へも積極的に参加し、事業所主催の行事への参加を地域内へ案内している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせていただき、地域の方に認知症の人の理解と、開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご家族様からその都度意見をいただき、その場で解決できる問題であれば、皆で討議し、納得していただいている。	運営推進会議は、毎回地域の方、地域包括支援センター職員、家族が参加されている。家族会と同時開催することで家族が参加し易い方法を取られ、運営に関する意見交換が行われている。家族からの意見で「職員の顔と名前が分からない」という意見に対して、玄関スペースに職員の顔写真を掲示し、家族が職員と話しやすい環境への改善が行われている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町に地域連携会議の案内と内容報告を提出し、施設の日々の取り組みを見ただき、わからない事があれば、気軽に相談に乗っていただいている。	市町との連携を密に取り、不明な点について相談している。来訪時に施設の取り組みを説明して、アドバイス等頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>個々で捉え方に違いがあるが、基本的には理解しており、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する判断が難しい事例が生じた場合、職員会議で提起して、改善策及びケアの方針について、家族同席の上検討を行い、身体拘束しないケアに取り組まれている。</p>	<p>身体拘束に関する指定基準の身体拘束禁止規定について、職員間で解釈が異なることがないように、研修会及び勉強会に積極的に参加され、理解の統一と共有を望みます。又、最近、日本全国で多発している施設職員の暴言暴力の報道内容を議題に、職員会議等で検討会を行い、更なる身体拘束をしないケアへの取組みを期待します。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待についても、日々の対応の中で再確認しながらケアにあたっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>以前は成年後見人制度を利用されていた入居者様も居られたが、現在は該当者はいませんが、情報交換を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には事前に内容を説明させていただき、充分理解されたうえで本契約の運びとしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>2ヶ月に1回の家族会及び運営推進会議の時に、ご家族様から意見が出たり要望があれば、それに向けて対応させて頂いている。（家族会の報告は、カンファレンスで行っている）</p>	<p>家族の面会時に意見等を頂いたり、家族会、運営推進会議で要望をお聴きし、運営改善に努めている。行事（バス旅行）の事についての要望を職員会議で検討し、実施している。又、運営推進会議と家族会を2か月ごとに行うことで、家族からの意見を聴ける機会を増やし、運営に反映できるよう改善に努められている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見は貴重なので、意見が出ればその都度申し送りなどで意見交換し、対応できることは取り入れるようにしている。</p>	<p>職員は、就業年数も長いので、管理者に対し、率直な意見として、日常の会話の中で提案されている。又、申し送りや職員会議で提案された案件については協議の上、速やかに運営に反映出来るものは実施している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの生の声が聴ける環境づくりをすることで、しっかり話し合い、改善できることはしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップの為、研修は参加しやすいよう、研修費・交通費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修にも取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の、町内の施設合同研修会などに参加させていただき、情報交換をしてサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>出来るだけ要望にお応えするように配慮している。利用者との信頼関係が一番だと思うので、スタッフ一同気配り・心配りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接・契約の時に、ご家族様の今までの苦労話等に耳を傾けながら、当施設での対応方法を説明させて頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>まずは事前面接に伺い、その時の聞き取り調査・本人の状態など、面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用もあるなど、提案させて頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様は皆様人生の経験者・先輩なので、常にお互いに勉強をさせて頂いているという気持ちで接するよう心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様のご家族とも、来所の折には施設での生活の様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えていただくなどしながら、日々の対応に役立てている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>当施設は夜間・深夜以外は、いつでも面会を取り次いでいる。家族以外・知人・友人の面会もご家族様に了解のうえで取り次いでいる。</p>	<p>利用者の友人・知人の面会もあり、家族の了解のもと取り次いでいる。又、以前通われていた地域サロンなどにお連れし、人や場所との関係が途切れないように、支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり、困っていたら声を掛け合って、皆さん共同生活されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても気にかけてくださり、入居者様を紹介して下さるご家族様もいる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	中々思い通りの生活は叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように、本人の意思・意向を尊重しながら、日々対応に努めている。	普段から寄り添い、生活をしていく会話の中で、情報を収集している。入浴の際、職員が利用者と会話し、本音を聞けることが多い。帰宅願望の方を家族と相談の上、度々帰宅させることで、帰宅願望が軽減した実績がある。把握が困難な利用者は、家族からの情報を基に本人本位で検討し、支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話の中から生活歴を引き出したり、ご家族にお聞きしながら、日々の対応に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々で違うので、お一人ずつに適した生活様式をスタッフが把握して、その日その時に、応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・ご家族の意向に沿った介護計画が出来るよう、主治医の指示も仰ぎ、カンファレンスでも話し合いながら、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は、基本的に3ヶ月に1回、見直している。利用者の状態変化がある場合は、都度見直しを行っている。モニタリングは、毎月行い、職員会議で検討し、家族を含めた会議で介護計画を作成し、現状に即したプラン作りに努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化や気づき等、事細かく個別記録に記入することで、職員間で情報の共有をし、ケアや介護計画に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様・ご家族様の意向に沿う様心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで、出向ける事には参加できるが、出向ける人が限られているので、施設にボランティアなどで入ってきていただくことで、生活に張りが出てきている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医があるので、変わっていたかかつけ医を受診されている方は、そのままかかりつけ医の受診・往診を支援している。</p>	<p>基本的に、提携医に毎月2回定期往診をして頂いている。従来のかかりつけ医の希望の利用者は、かかりつけ医に毎月2回の往診をお願いしている。基本的に往診をして頂くことで、かかりつけ医と事業所との連携が図られている。従来のかかりつけ医を利用する場合は、原則として家族が同行し、結果は職員に伝えられ、情報の共有が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>非常勤の看護職員の出勤時には、利用者様の特変を報告し、適切な指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、様子を伺い、病院関係者と連絡を取るよう心がけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医からの指示により、終末期に向かう段階で、ご家族様と話をさせていただき、ある程度の方針を決めて、看取りまでの過程を説明している。</p>	<p>開設10年で利用者の高齢化が進み、ここ数年看取りの数も増えてきている。終末期が近づいた段階で、医師より状態の説明をして頂き、方針について家族と関係者で話し合いの場を度々設けるようにしている。施設としてできる事、できない事を充分説明し、理解の上で支援に取り組まれている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い、落ち着いて対応するように指導している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に避難訓練、及び救命救急の訓練・指導を実施している。</p>	<p>年2回、昼夜想定で防火、防災避難訓練を実施している。消防署の指導で救急救命の指導を受け、緊急時の対応についても学んでいる。又、今回は、台風の影響で中止となり参加できなかったが、地域主催の災害避難訓練にも参加する予定であった。</p>	<p>事業所主催の火災訓練に、地域の方への連絡はしているものの参加がない。火災、災害時には地域の方の協力が不可欠であるため、地域の方への参加協力を再度行い、地域の協力連携を構築されることを期待します。又、海岸に面している立地条件で、地震時の津波被害が予想されます。津波の際の避難場所が明確になっていない。早急に行政及び関係機関と協議の上、避難場所の想定をされることを望みます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	充分その点は、配慮していると思う。居室を開ける時には、中に居なくてもノックをして、出来るだけ利用者に声をかけて入室するように努めている。	居室は、利用者の部屋であることを徹底し、入室前は必ずノックし、利用者の了承を得て入室している。又、声掛けは個々の利用者に合わせた尊厳や誇りを損ねないような対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては、即座に対応できる範囲で、お応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて、一人ひとりの思いを大事にしている。時には全員で体操などしているが、強要はしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時、鏡を見てもらい、しっかりと自分の顔を見ていただき、整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚は大事にしたいので、季節の旬の物は、提供したいと考えています。勿論、食事は一緒にとり、メニューの話や材料などで話が広がり、片づけ・食器拭きなど分担して手伝ってもらっている。	食事は、施設内で調理し、出来る限り旬のものを提供している。利用者の誕生日はその利用者にお聞きして、好きなメニューにしている。又、利用者の希望により、ハンバーガーを食べに行ったり、弁当など購入し外食している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量・形態・時間など，一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，口腔ケアの声掛け・介助をさせていただいている。ご家族・ご本人の希望に合わせて，月に2回，歯科衛生士による口腔ケア訪問もほとんどの方が実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し，定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>排泄記録表で利用者の排泄パターンを把握し，利用者に合わせて声掛けを行い支援されている。利用者の状態に合わせて，ポータブルトイレを使用されている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防の為，毎朝，ヨーグルトとバナナを提供している。また体操後やこまめな水分補給にも心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は，時間に関係なく，その都度，入浴支援を行っている。また，通院など外出予定前日に，入浴の対応を行っている。</p>	<p>週2回，平均で入浴されている。季節に応じて入浴剤を使用し，リラックスできるようにされている。又，入浴の際は職員が出来るだけコミュニケーションを図り，楽しんで入浴をして頂けるよう気配りをされている。入浴拒否の方は，足浴から初めて，根気よく声掛けを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その日の体調に合わせて、昼食後に午睡をされる方とされない方がいる。夕食後は、一人ひとりの時間に合わせて、入室消灯されている。消灯時間は決まっていない。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬が変わったときは、連絡ノートや申し送りなどで行い、服薬は、手渡しではなく最後まで見届けている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが続けていけるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族様にも協力していただき、外出される方もおられる。	施設は、海の傍の公園の近くにあり日々の散歩コースになっている。希望により買物やドライブに出掛けている。四季に応じて外出行事が行われ最近では、利用者、家族同伴のバス旅行が実施された。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご本人が、お金の管理をされている方は、買い物に同行支援している。そうではない方にも、金額を決めて買い物をしていただくこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人で携帯電話を使用されている方もおられるが、電話の取次ぎ・貸し出しにも常時対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>午前中は光がまぶしすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は暖房による乾燥防止の為、加湿器を使用している。</p>	<p>リビングは、吹き抜けになっており、適度に採光も入り明るい環境となっている。通路も広く取られており、車椅子等の移動がし易いように配置がなされている。リビング内には、行事の写真や利用者と一緒に作成した貼り絵等の作品も飾られ、落ち着いた生活が送れるよう配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室なので、いつでも気兼ねせず自分の部屋でゆっくり静養できる。また、リビングのソファで、利用者同士よくお話をされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使われていた馴染みのある物を持ってきていただき、落ち着いた過ごしただけのようにしている。（寝具・写真・家具・仏壇・ぬいぐるみ）</p>	<p>居室内は、清掃も行き届いており、出来るだけ利用者と掃除ができるよう、モップを利用して一緒に清掃をしている。又、使い慣れたものの持ち込みは自由であり、家具や仏壇など、その利用者に合わせたレイアウトがされている。特に、寝具等に気遣いされており、使い慣れた布団や枕を持ち込んで頂くことで、落ち着いた生活が出来るように気配りされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりに何が出来るのかを見つけ、残存機能を活かせるような、見守り及び介助を行うようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 平成28年2月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践	個人を束縛しないよう心がける	出来るだけ外出支援を増やす。少しの間でも良いので、外の空気に触れるように対応。	現在、実践している
2	1	理念の共有と実践	短期目標を早期に決める	カンファ等でスタッフ間で話し合い決める	1ヶ月ぐらい
3	13	災害対策	水害における避難場所の確認	避難順路の確認	
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。